

福祉の未来を拓く 支え合い活動実践講演会

# これからの介護を考える

～地域包括ケアのあり方～



平成27年4月より介護保険制度が改正となり、社会福祉法人・福祉施設、そして地域住民の協働により、生活課題・福祉課題に対して、新たな総合事業や介護サービス、拠点づくり等の取組みを実践することが必要となっております。

団塊の世代が75歳以上となる2025年までに、より介護が困難になった方々でも住み慣れた地域で自分らしい生活が続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の実現に向け、各地域の特性に合わせた活動を実践することが急務であります。

本講演会は、専門多職種や地域住民の連携により、今後の高齢社会をいかに包括的に支えるかを学ぶために開催します。

参加費  
無料

日時 平成27年11月28日(土)

日時 午後1時～午後4時

場所 いわき市社会福祉センター5階大会議室  
(いわき市平菱川町1番地の3)

定員 120名

対象 地域福祉活動に関心のある方

参加申込期限 11月13日(金)まで ※定員に達するまで参加申込を受け付けします。



演題 『住み慣れた地域で暮らし続けるために～介護と地域包括ケア～』

講師 宮島 渡 氏 (日本社会事業大学 大学院福祉マネジメント研究科 特任教授)

昭和61年より茨城県内の特別養護老人ホームに生活指導員として勤務し、平成3年に長野県に移住。医療法人に所属して特別養護老人ホームアザレアさんだの建設に着手。平成4年には同施設と真田町デイサービスセンターを開所し、施設長に就任。

「地域で生活する認知症の人の生活を支える在宅サービスのあり方」や「認知症の人にやさしいまちづくりの推進」、さらには「地域包括ケアにおける介護職員の専門性に着目した多様なキャリアパスと人材確保」についての研究などにも取り組んでいる。

【主な著書】

「地域でねばる」(筒井書房) 「利用者の生活を支えるユニットケア」(認知症介護研究・研修東京センター 共著)

「認知症地域ケアガイドブック」(ワールドプランニング 共著) 「認知症に対する介護技術」(第一法規 共著)

「介護職員等実務者研修テキスト 第4巻」(中央法規出版 共著)



主催 日本社会事業大学/日本社会事業大学同窓会福島県支部

共催 (社福)いわき市社会福祉協議会

後援 いわき市/(社福)福島県社会福祉協議会/(一般)福島県社会福祉士会/(一般)福島県介護福祉士会/(一般)福島県精神保健福祉士会/(一般)福島県介護支援専門員協会/福島県医療ソーシャルワーカー協会/(特非)地域福祉ネットワークいわき/老人福祉施設協議会(施設部会)いわき支部

# プログラム

12:30~13:00	■ 受付
13:00~13:15	■ 開会 ■ 主催者あいさつ 日本社会事業大学同窓会福島県支部 支部長 神戸 信行 ■ 来賓者あいさつ 社会福祉法人いわき市社会福祉協議会 会長 強口 暢子
13:15~14:30	■ 基調講演「住み慣れた地域で暮らし続けるために～介護と地域包括ケア～」 日本社会事業大学 大学院福祉マネジメント研究科 特任教授 宮島 渡 氏
14:30~14:40	休 憩
14:40~15:50	■ パネルディスカッション 「地域包括ケアシステムを実現するためには？～多職種連携について～」 パネリスト：生田目 香織 氏（特別養護老人ホームいわさき荘） 森 川 誠司 氏（勿来・田人地域包括支援センター） 二 瓶 泰然 氏（いわき市社会福祉協議会内郷地区協議会） コーディネーター：宮 島 渡 氏（日本社会事業大学 特任教授）
15:50~16:00	■ 質疑応答
16:00	■ 閉会

## ■ 内容・申込みに関する問合せ先

所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、下記問合せ先にFAXまたはE-mailにて送付ください。

問合せ先

いわき市社会福祉協議会内郷地区協議会  
〒973-8408 福島県いわき市内郷高坂町四方木田191  
TEL:0246-27-8707 FAX:0246-27-8640  
E-mail:uchigo@iwaki-shakyo.com 担当:二瓶



## ■ 個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。

## ■ 会場案内

